

令和元年度病虫害発生予察情報 予報第13号（2月）

令和2年2月13日
発表：福島県病虫害防除所

野菜・花き

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	全 域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	多発すると防除が困難になるので、発生初期から薬剤防除を徹底する。
	灰色かび病	全 域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	①過湿にならないよう換気を行う。 ②発病果や罹病した果梗、老化葉などはハウス内に放置しない。
	アブラムシ類	全 域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。
	ハダニ類	全 域	－	平年並	①発生ほ場割合は、平年よりやや低かった（－）が、一部で寄生程度の高いほ場が確認されている。 ②天候予報（2月6日発表1か月予報）によると気温が高くなると予想されている（+）。	①低密度時から薬剤防除を実施する。 ②抵抗性の発達が懸念されるので、殺ダニ剤の選択には注意する。 ③カブリダニ等天敵資材を放飼している場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。
	コナジラミ類	全 域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。
	アザミウマ類	全 域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	発生が多くなると果実被害が生じるので、低密度時から防除を実施する。

注）予報の根拠の中で（+）は多発要因、（－）は少発要因、（±）は平年並要因であることを示す。

より詳しい発生状況や防除対策は、福島県病虫害防除所ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> を御覧ください。

お問い合わせは TEL:024-958-1709、FAX:024-958-1727 または e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp へお願いします